

令和3年度第6回甲賀市下水道審議会 次第

日 時：令和4年2月7日（月）

午後2時00分から

場 所：甲賀市役所3階 会議室301

1. 開 会

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

4. 議 題

(1) 令和4年度甲賀市下水道事業会計予算（案）について （資料1・資料2）

(2) 令和4年度甲賀市一般会計（浄化槽関係）予算（案）について （資料3）

(3) 社会資本総合整備計画の事後評価について （資料4）

5. 報告事項

6. その他

7. 閉 会

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」
を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に

あなたも仲間

いろどる山河と

生きいき文化

こぼれる笑顔に

応える安心

うみだす活力

受けつぐ伝統

かがやく未来に

鹿深の夢を

令和 3 年度決算見込の概要

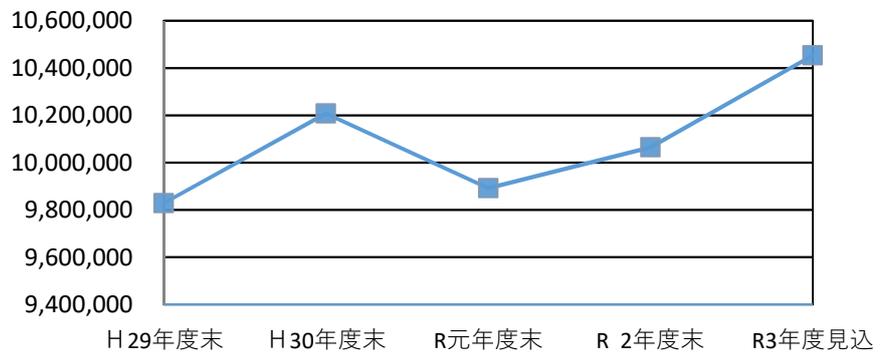
収益的収支においては、事業者の排水量の増加等により使用料収益が増加傾向となり、また滋賀県琵琶湖流域下水道事業市町維持管理負担金の剰余金返還のため増収の見込みです。費用面では、委託料の入札差額等によりやや減少し税抜き後では黒字となる見込みです。

資本的収支においては、信楽町長野地区の下水道整備、今郷地区農業集落排水処理施設の公共下水道接続設計、中央雨水幹線の整備などを実施し、収入を約 1 4 億 8 千万円、支出を約 2 7 億 1 千万円と見込んでいます。資本的収入が資本的支出額に不足する額約 1 2 億 3 千万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんします。

処理水量の推移

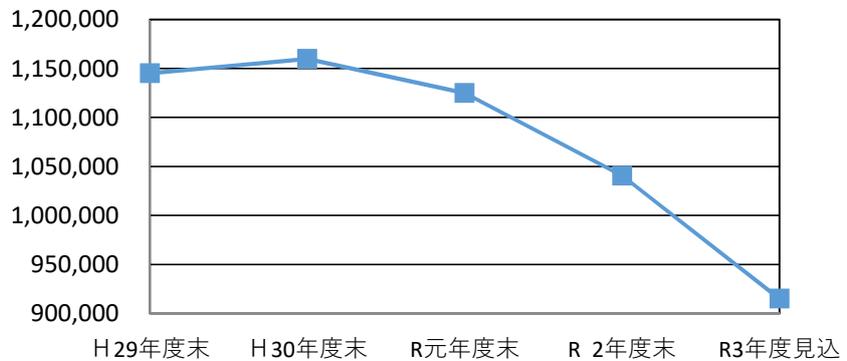
公共下水道 (単位：m³)

	処理水量
H29年度末	9,829,231
H30年度末	10,208,269
R元年度末	9,892,362
R 2年度末	10,064,210
R3年度見込	10,453,916



農業集落排水 (単位：m³)

	処理水量
H29年度末	1,145,108
H30年度末	1,159,766
R元年度末	1,124,856
R 2年度末	1,040,364
R3年度見込	915,000

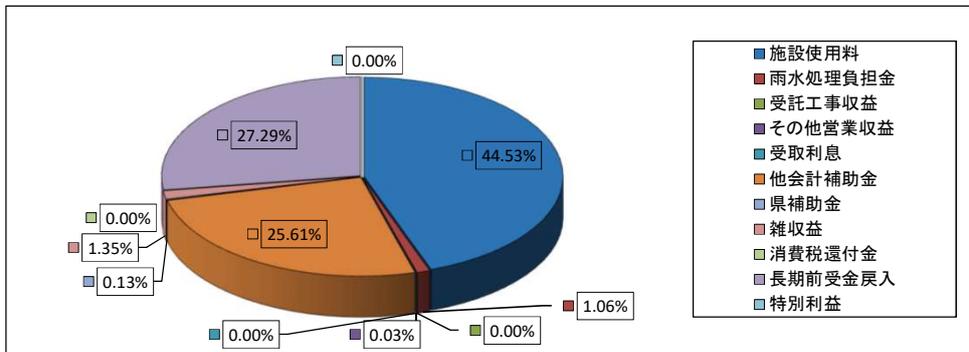


○収益的収支（汚水を処理するための財源と費用）

〔単位：千円、% 消費税込み〕

(合算)	決算見込額	予算現額	比較	増減率	備考
収 益	3,646,634	3,587,257	59,377	1.7	
費 用	3,519,558	3,566,625	▲ 47,067	▲ 1.3	
収 支	127,076	20,632	106,444	515.9	

収益構成 (合算)



(合算)

〔単位：千円、% 消費税込み〕

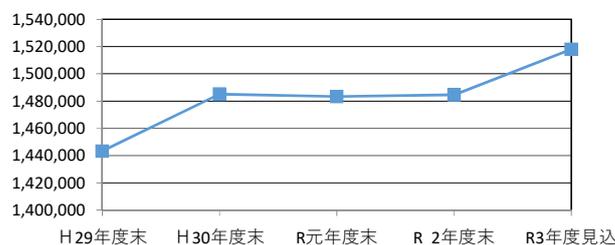
収益		決算見込額	予算現額	比較	増減率	備考
営業収益	施設使用料	1,623,508	1,607,688	15,820	1.0	
	雨水処理負担金	38,825	38,825	0	0.0	
	受託工事収益	134	1,000	▲ 866	▲ 86.6	
	その他営業収益	1,197	6,940	▲ 5,743	▲ 82.8	
営業外収益	受取利息	5	17	▲ 12	▲ 70.6	
	他会計補助金	934,081	935,081	▲ 1,000	▲ 0.1	
	県補助金	4,665	2,459	2,206	89.7	
	雑収益	49,170	223	48,947	21,949.3	
	消費税還付金	0	0	0	-	
	長期前受金戻入	995,022	995,022	0	0.0	
	特別利益	27	2	25	1,250.0	
計	3,646,634	3,587,257	59,377	1.7		

施設使用料収入の推移

公共下水道 (単位：千円)

	施設使用料
H29年度末	1,443,302
H30年度末	1,485,123
R元年度末	1,483,345
R2年度末	1,484,586
R3年度見込	1,518,007

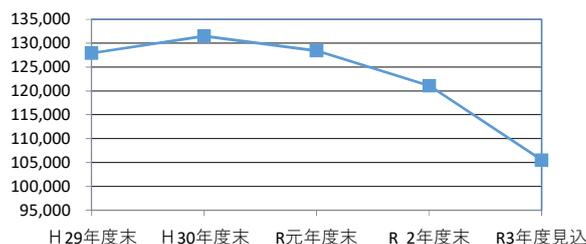
(税込み)



農業集落排水 (単位：千円)

	施設使用料
H29年度末	127,937
H30年度末	131,481
R元年度末	128,409
R2年度末	121,077
R3年度見込	105,501

(税込み)

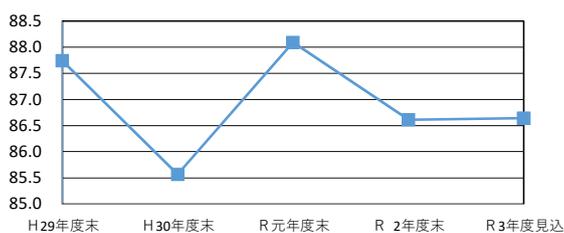


有収率の推移

公共下水道

(単位：%)

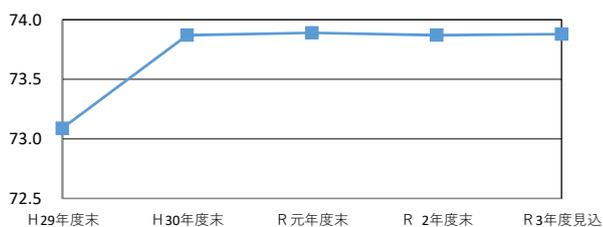
	有収率
H29年度末	87.74
H30年度末	85.57
R元年度末	88.09
R2年度末	86.61
R3年度見込	86.64



農業集落排水

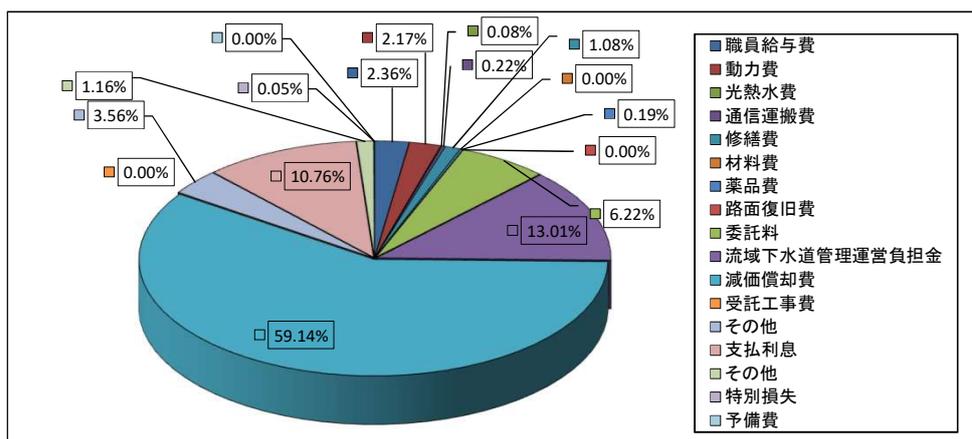
(単位：%)

	有収率
H29年度末	73.09
H30年度末	73.87
R元年度末	73.89
R2年度末	73.87
R3年度見込	73.88



費用構成

(合算)



(合算)

[単位：千円、% 消費税込み]

費用	決算見込額	予算現額	比較	増減率	備考
営業費用	職員給与費	83,205	86,412	▲ 3,207	▲ 3.7
	動力費	76,494	77,612	▲ 1,118	▲ 1.4
	光熱水費	2,815	2,924	▲ 109	▲ 3.7
	通信運搬費	7,728	9,951	▲ 2,223	▲ 22.3
	修繕費	37,843	38,892	▲ 1,049	▲ 2.7
	材料費	0	0	0	-
	薬品費	6,802	7,022	▲ 220	▲ 3.1
	路面復旧費	0	0	0	-
	委託料	218,776	220,744	▲ 1,968	▲ 0.9
	流域下水道管理運営負担金	457,758	463,567	▲ 5,809	▲ 1.3
	減価償却費	2,081,723	2,081,723	0	0.0
	受託工事費	133	1,000	▲ 867	▲ 86.7
	その他	125,141	133,204	▲ 8,063	▲ 6.1
営業外費用	支払利息	378,660	390,706	▲ 12,046	▲ 3.1
	その他	40,768	40,768	0	0.0
	特別損失	1,712	2,100	▲ 388	▲ 18.5
	予備費	0	10,000	▲ 10,000	▲ 100.0
計	3,519,558	3,566,625	▲ 47,067	▲ 1.3	

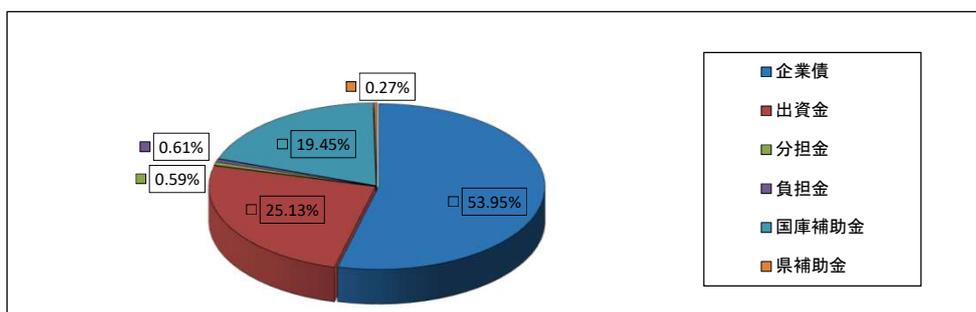
○資本的収支（下水道施設を整備するための費用と財源）

〔単位：千円、% 消費税込み〕

(合算)	決算見込額	予算現額	比較	増減率	備考
収入	1,482,531	2,247,839	▲ 765,308	▲ 34.0	
支出	2,708,216	3,644,509	▲ 936,293	▲ 25.7	
収支	▲ 1,225,685	▲ 1,396,670	170,985	▲ 12.2	

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,225,685千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額110,452千円、過年度分損益勘定留保資金52,663千円、当年度分損益勘定留保資金1,062,570千円で補てんする。

収入構成 (合算)

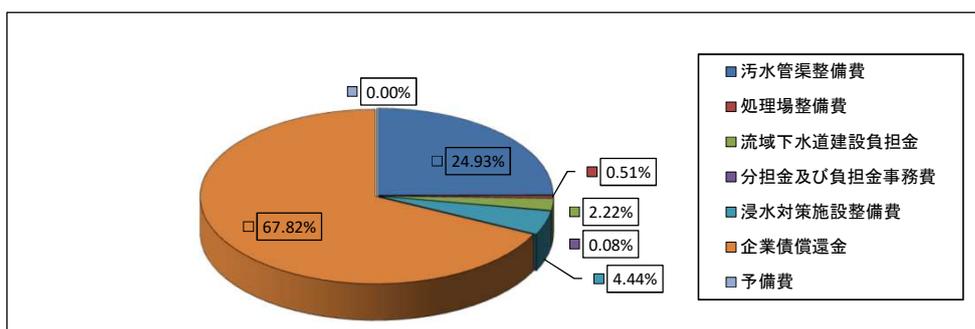


(合算)

〔単位：千円、% 消費税込み〕

収入	決算見込額	予算現額	比較	増減率	備考
企業債	799,900	1,318,300	▲ 518,400	▲ 39.3	繰越含む
出資金	372,508	372,508	0	0.0	
分担金	8,800	6,902	1,898	27.5	
負担金	9,017	18,321	▲ 9,304	▲ 50.8	
国庫補助金	288,347	523,108	▲ 234,761	▲ 44.9	繰越含む
県補助金	3,959	8,700	▲ 4,741	▲ 54.5	
計	1,482,531	2,247,839	▲ 765,308	▲ 34.0	

支出構成 (合算)



(合算)

〔単位：千円、% 消費税込み〕

支出	決算見込額	予算現額	比較	増減率	備考
汚水管渠整備費	675,136	1,199,826	▲ 524,690	▲ 43.7	繰越含む
処理場整備費	13,897	64,703	▲ 50,806	▲ 78.5	
流域下水道建設負担金	60,000	65,551	▲ 5,551	▲ 8.5	
分担金及び負担金事務費	2,284	2,988	▲ 704	▲ 23.6	
浸水対策施設整備費	120,208	469,749	▲ 349,541	▲ 74.4	繰越含む
企業債償還金	1,836,691	1,836,692	▲ 1	▲ 0.0	
予備費	0	5,000	▲ 5,000	▲ 100.0	
計	2,708,216	3,644,509	▲ 936,293	▲ 25.7	

令和4年度当初予算の概要

収益的収支においては、下水道への接続による水洗化世帯の増加を見込んだ使用料収入を計上していますが、下水道施設の維持管理や企業債償還等に多額の費用を要することなどから、引き続き適正かつ効率的な施設の管理と未水洗化世帯への普及啓発を進め、持続可能な安定経営を図ります。

施設管理については、ストックマネジメント計画に基づく施設更新や経年による老朽施設の修繕、点検業務の充実など施設の機能確保や向上を図り、適正な汚水処理を行います。

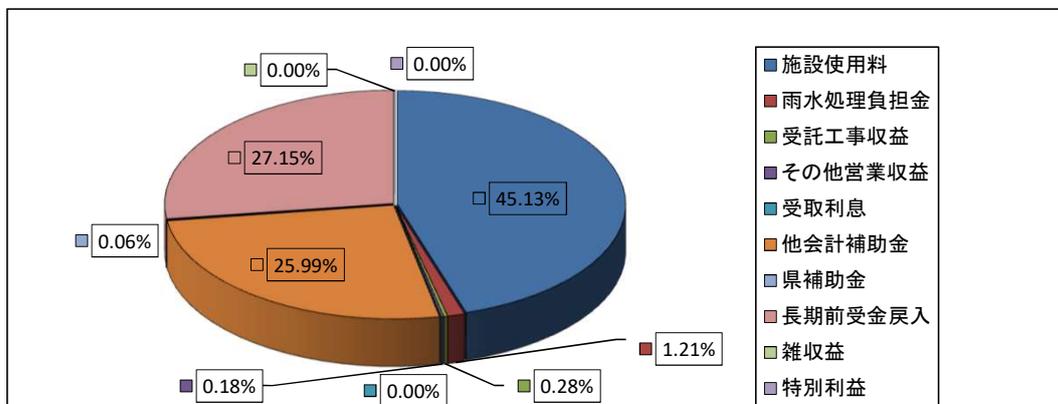
資本的収支においては、汚水処理施設構想に基づき、信楽地域の管渠整備工事を継続実施するほか、今郷地区農業集落排水処理施設の公共下水道接続工事、中央雨水幹線の整備工事などを行い、安心安全で快適な生活環境づくりを進めます。

○収益的収支（汚水を処理するための財源と費用）

〔単位：千円、% 消費税込み〕

(合算)	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	備考
収益	3,616,950	3,587,593	29,357	0.8	
費用	3,616,950	3,587,593	29,357	0.8	
収支	0	0	0	—	

収益構成 (合算)

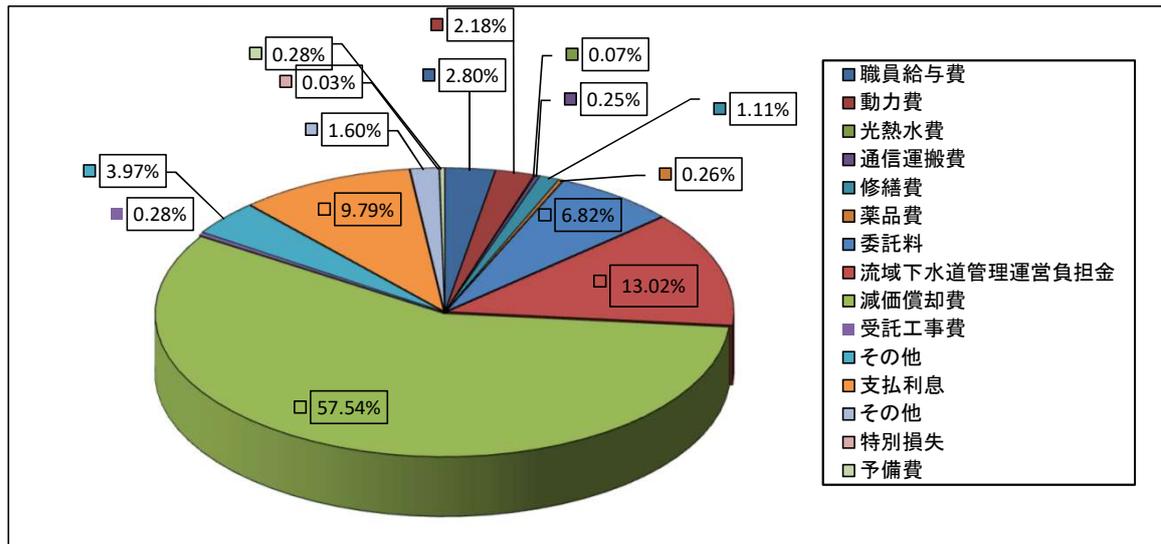


(合算)

〔単位：千円、% 消費税込み〕

収益		令和4年度	令和3年度	比較	増減率	備考
営業収益	施設使用料	1,632,356	1,607,688	24,668	1.5	
	雨水処理負担金	43,684	38,825	4,859	12.5	
	受託工事収益	10,100	1,000	9,100	910.0	
	その他営業収益	6,370	6,940	▲ 570	▲ 8.2	
営業外収益	受取利息	11	17	▲ 6	▲ 35.3	
	他会計補助金	939,976	935,417	4,559	0.5	
	県補助金	2,186	2,459	▲ 273	▲ 11.1	
	長期前受金戻入	982,093	995,022	▲ 12,929	▲ 1.3	
	雑収益	172	223	▲ 51	▲ 22.9	
	特別利益	2	2	0	0.0	
計		3,616,950	3,587,593	29,357	0.8	

費用構成 (合算)



(合算)

(単位: 千円、% 消費税込み)

費用	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	備考
営業費用	職員給与費	101,225	106,990	▲ 5,765	▲ 5.4
	動力費	78,814	78,612	202	0.3
	光熱水費	2,620	2,845	▲ 225	▲ 7.9
	通信運搬費	9,163	9,951	▲ 788	▲ 7.9
	修繕費	40,078	33,169	6,909	20.8
	薬品費	9,263	8,400	863	10.3
	委託料	246,668	224,508	22,160	9.9
	流域下水道管理運営負担金	471,020	463,567	7,453	1.6
	減価償却費	2,081,301	2,081,723	▲ 422	▲ 0.0
	受託工事費	10,100	1,000	9,100	910.0
	その他	143,693	133,254	10,439	7.8
営業外費用	支払利息	354,105	390,706	▲ 36,601	▲ 9.4
	その他	57,700	40,768	16,932	41.5
特別損失	1,200	2,100	▲ 900	▲ 42.9	
予備費	10,000	10,000	0	0.0	
計	3,616,950	3,587,593	29,357	0.8	

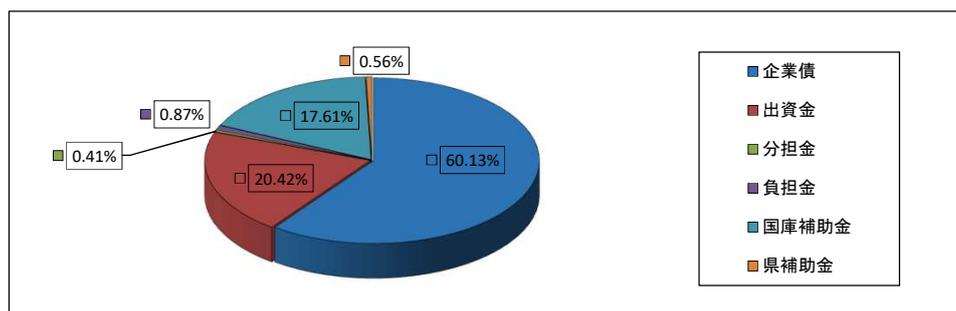
○資本的収支（下水道施設を整備するための費用と財源）

〔単位：千円、% 消費税込み〕

(合算)	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	備考
収入	1,780,018	1,766,664	13,354	0.8	
支出	3,016,027	3,005,326	10,701	0.4	
収支	▲ 1,236,009	▲ 1,238,662	2,653	▲ 0.2	

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,236,009千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額72,601千円、過年度分損益勘定留保資金26,131千円、当年度分損益勘定留保資金1,103,908千円、繰越利益剰余金処分額33,369千円で補てんする。

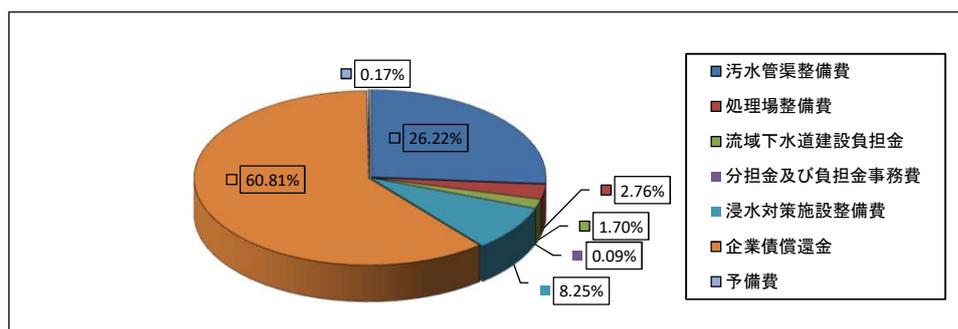
収入構成 (合算)



(合算) 〔単位：千円、% 消費税込み〕

収入	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	備考
企業債	1,070,400	1,037,000	33,400	3.2	
出資金	363,462	372,490	▲ 9,028	▲ 2.4	
分担金	7,221	6,902	319	4.6	
負担金	15,434	18,321	▲ 2,887	▲ 15.8	
国庫補助金	313,500	323,251	▲ 9,751	▲ 3.0	
県補助金	10,001	8,700	1,301	15.0	
計	1,780,018	1,766,664	13,354	0.8	

支出構成 (合算)



(合算) 〔単位：千円、% 消費税込み〕

支出	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	備考
汚水管渠整備費	790,784	674,119	116,665	17.3	
処理場整備費	83,396	60,891	22,505	37.0	
流域下水道建設負担金	51,304	65,551	▲ 14,247	▲ 21.7	
分担金及び負担金事務費	2,782	2,988	▲ 206	▲ 6.9	
浸水対策施設整備費	248,677	360,085	▲ 111,408	▲ 30.9	
企業債償還金	1,834,084	1,836,692	▲ 2,608	▲ 0.1	
予備費	5,000	5,000	0	0.0	
計	3,016,027	3,005,326	10,701	0.4	

■令和4年度予算 繰入金内訳表

予算科目 (一般会計)	(企業会計)	項目	繰入金額 (千円)	積算根拠
6款 農林水産業費 2項 土地改良費 3目 農業集落排水事業費 19節 負担金補助及び交付金	収益的収入	基準内繰入金 高度処理費 臨時財政特例債等 分流式下水道に要する経費 水質規制費 基準外繰入金	287,255 186,498 12,176 1,393 172,467 462 100,757 95,551	(高度処理の資本費+高度処理維持管理費)×1/2 特例措置分利息+臨特債利息 汚水維持管理費+資本費(特定財源・使用料収入・他の繰入金を除く) 水質検査費用 施設維持に要する経費 特定財源を除く汚水維持管理費+特定の財源を除く資本費 -料金収入-他の繰入金基準による繰入-分流式下水道に要する経費 5,206 高度処理維持管理事業交付金分(県自治振興交付金額)
24節 投資及び出資金	資本的収入	基準内繰入金 臨時財政特例債等 基準外繰入金	95,680 16,450 16,450 79,230 79,230	特例措置分元金+臨特債元金 分流式下水道に要する経費(基準外) 分流式下水道に要する経費を元利償還金を資本費として算出した額 -基準内の分流式下水道に要する経費
8款 土木費 4項 都市計画費 4目 下水道費 19節 負担金補助及び交付金	収益的収入	基準内繰入金 雨水処理費 水質規制費 不明水処理費 高度処理費 臨時財政特例債等 普及特別対策に要する経費 緊急下水道整備特定事業経費 その他(流域・臨時措置分) 下水道事業債特別措置分 分流式下水道に要する経費 災害復旧事業債 基準外繰入金	696,405 640,782 43,684 2,822 57,104 25,128 2,652 20,535 1,096 551 314 486,892 4 55,623 55,623	維持管理費+(減価償却費-長期前受金戻入)+利息 水質検査費用 不明水量×維持管理費 (高度処理の資本費+高度処理維持管理費)×1/2 特例措置分利息+臨特債利息 普及特対分利息×55% 緊急下水道特定事業債利息 流域・臨時措置分利息 特別措置分利息 汚水維持管理費+資本費(特定財源・使用料収入・他の繰入金を除く) 災害復旧事業債利息×1/2 施設維持に要する経費
24節 投資及び出資金	資本的収入	基準内繰入金 臨時財政特例債等 普及特別対策に要する経費 緊急下水道整備特定事業経費 その他(流域・臨時措置分) 下水道事業債特別措置分 災害復旧事業債 地方公営企業職員に係る児童 手当に要する経費 基準外繰入金	267,782 175,783 25,462 135,763 7,852 2,988 2,960 518 240 91,999 91,999	特例措置分元金+臨特債元金 普及特対分償還元金×55% 緊急下水道特定事業債償還元金 流域・臨時措置分元金 特別措置分償還元金 災害復旧事業債償還元金×1/2 児童手当 分流式下水道に要する経費(基準外) 分流式下水道に要する経費を元利償還金を資本費として算出した額 -基準内の分流式下水道に要する経費

令和4年度 下水道事業 工事一覧

事業区分		番号	工事名	事業量	備考	
公共 下水道事業	建設 工事	地方 創生	1 長野地区管渠整備工事	開削工Φ150~200 L=3,950m マンホールポンプ設置工 1箇所		
		社会 資本	2 今郷地区管渠整備工事（公共接続）	開削工Φ100 L=330m マンホールポンプ設置工 1箇所		
		単 独	3 公共下水道管渠整備工事	汚水樹設置工 50箇所 開削工Φ150 L=110m		
	雨 水	防 災 ・ 安 全	4 中央雨水幹線整備工事	舗装工 A=1,600m ²		
		5 甲南駅周辺地区雨水整備工事	推進工Φ1350 L=70m			
農 業 集 落 排 水 事 業	改良 工事	地方 創生	6 長野地区舗装復旧工事	舗装工 A=4,440m ²		
			防 災 ・ 安 全	7 マンホールポンプ電気・機械設備工事 （ストックマネジメント）	電気・機械設備工 7箇所	
		農 村 整 備	8 山内地区処理場機能強化工事	電気・機械設備工 1式		
		汚 水	単 独	9 八田春日地区処理場電気設備更新工事	電気設備工 1式	
				10 高嶺地区処理場電気設備更新工事	電気設備工 1式	
			11 畑地区処理場機械設備更新工事	機械設備工 1式		
			12 山内地区マンホールポンプ更新工事	ポンプ設置工 2基		
			13 宮町地区真空弁ユニット更新工事	真空弁ユニット設置工 5基		

※300万円以上の工事を記載しています。

令和4年度 下水道事業 工事箇所図



9. 八田春日地区処理場電気設備更新工事

4. 中央雨水幹線整備工事

5. 甲南駅周辺地区雨水整備工事

2. 今郷地区管渠整備工事（公共接続）

8. 山内地区処理場機能強化工事

12. 山内地区マンホールポンプ更新工事

7. マンホールポンプ電気・機械設備工事
（ストックマネジメント）

13. 宮町地区真空弁ユニット更新工事

10. 高嶺地区処理場電気設備更新工事

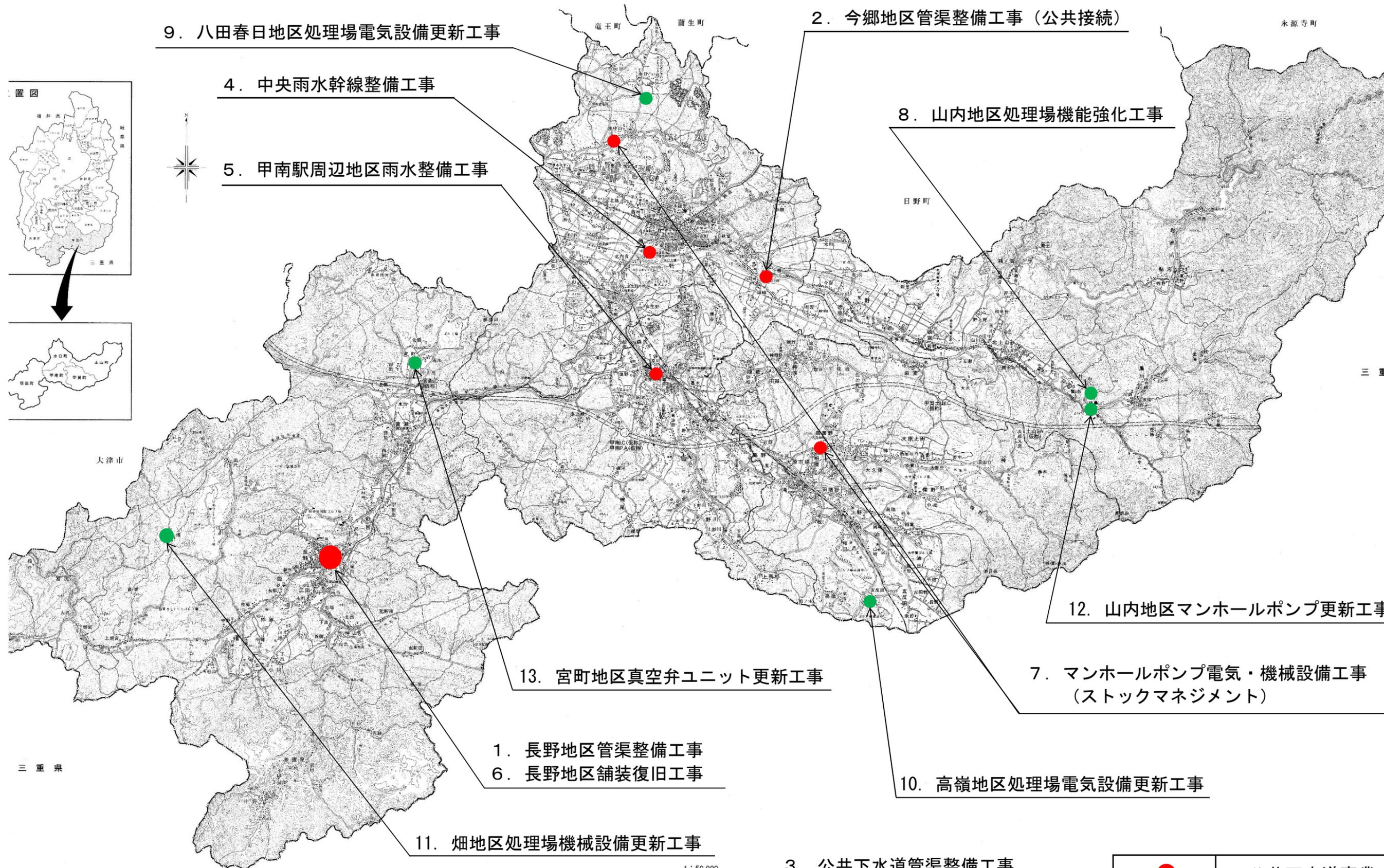
1. 長野地区管渠整備工事
6. 長野地区舗装復旧工事

11. 畑地区処理場機械設備更新工事

3. 公共下水道管渠整備工事
（市内一円）

●	公共下水道事業
●	農業集落排水事業

※300万円以上の工事を記載しています。



1 : 50,000

一般会計 浄化槽関係予算について

1. 合併浄化槽にかかる補助について

甲賀市では、合併浄化槽にかかる下記の補助制度があります。

(1) 浄化槽設置整備事業補助

合併浄化槽区域及び下水道等の供用開始が7年以上見込まれない区域の住宅用、公共用の合併浄化槽の設置費用に対し、予算の範囲内で補助します。

<例 7人槽の場合 (※1基あたり 1,100,000円)

※環境省試算値>

補助基準額	
5人槽	332,000円
6～7人槽	414,000円
8～10人槽	548,000円
11～20人槽	939,000円
21～30人槽	1,472,000円

設置者負担	設置整備事業補助
686,000円	414,000円

(2) 浄化槽設置の上乗せ補助

合併浄化槽区域において地域が組合を作り、集中的にまとめて実施する「面的整備事業」には、上記の「(1)浄化槽設置整備事業補助」に加え、次の「①面的整備事業補助」及び「②維持管理事業補助」の上乗せ支援を行います。

① 面的整備事業補助 <例 7人槽の場合 (※1基あたり 1,100,000円) ※環境省試算値>

設置者負担	面的整備事業補助	設置整備事業補助
406,000円	280,000円	414,000円

②維持管理事業補助

面的整備事業を実施した組合に対し、同事業で設置した合併浄化槽及び既存合併浄化槽の維持管理に対する費用の一部を最大12年間助成します。

【1基当たり 20,000円】

※ただし、法定検査及び保守点検、清掃を実施していない合併浄化槽は、補助金の交付対象になりません。

また、地域の実情により面的整備事業の対象とならない住宅用、公共用の合併浄化槽には、「③促進補助金」として上乗せ支援を行います。

③ 促進補助金 <例 7人槽の場合 (※1基あたり 1,100,000円) ※環境省試算値>

設置者負担	促進補助	設置整備事業補助
546,000円	140,000円	414,000円

社会資本総合整備計画の事後評価について

1. 事後評価の概要

整備計画の事業期間終了後に、事業効果の状況や計画時に設定した目標の達成状況について、第三者で構成される委員会から意見を聴取し評価を行い、その結果を公表する。

1) 整備計画

- (1) 社会資本総合整備計画（下水道事業）
- (2) 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金事業）
- (3) 地域再生計画（汚水処理施設整備交付金事業）

2) 評価項目

- (1) 定量的指標等の事業効果
- (2) 今後の方針等
- (3) 目標値の達成状況

2. 社会資本総合整備計画（下水道事業）の事後評価

1) 計画の名称

甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現（その2）

2) 計画の期間

平成28年度～令和2年度（5年間）一部令和3年度へ繰越

3) 計画の目標

下水道整備を行い、浸水対策を実施することにより水害に強い町を作るとともに、安全・安心、快適な生活環境を実現する。また、汚水処理施設の長寿命化計画を策定し、安定的で効率的な汚水処理施設の維持管理・更新を図る。

下水道事業（汚水）の整備状況

R3.3.31 現在

処理区名	地域名	全体計画 整備面積 A (ha)	事業計画 整備面積 B (ha)	整備状況		
				整備面積 C (ha)	整備率 C/A	整備率 C/B
湖南中部 処理区	水口町、甲南 町、甲賀町	3,425.1	2,814.6	2,444.4	71.4%	86.8%
土山処理区	土山町	410.3	410.3	347.7	84.7%	84.7%
信楽処理区	信楽町	281.0	255.5	97.0	34.5%	38.0%
合計		4,116.4	3,480.4	2,889.1	70.2%	83.0%

4) 主な事業内容

水口・甲賀・甲南地域の公共下水道整備、土山処理場の長寿命化、農業集落排水施設の公共下水道接続

5) 成果目標と達成状況

(1) 定量的指標

① 下水道処理人口普及率

下水道を利用できる人口（人）／甲賀市行政区域住基人口（人）

《計画》計画時現況値 76.9%（71,250人／92,600人）

↓

最終目標値 81.6%（75,750人／92,800人）

《実績》最終実績値 80.5%（72,359人／89,901人）

②管きょ全体における更新率

更新済み管きょ (km) / 更新すべき管きょ (km)

《計画》計画時現況値 0.0% (0.0km/22.9km)

↓

最終目標値 21.8% (5.0km/22.9km)

《実績》最終実績値 21.8% (5.0km/22.9km)

(2) 定量的指標以外

土山処理場の長寿命化の推進

(3) 今後の方針等

生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、下水道未整備地区の継続整備と農業集落排水地域の公共下水道への接続を推進する。

3. 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金事業）の事後評価

1) 計画の名称

甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現（防災・安全）

2) 計画の期間

平成29年度～令和2年度（4年間）一部令和3年度へ繰越

（下水道事業整備計画に計上していた雨水整備等を防災・安全交付金事業で整備するため、計画変更を行い平成29年度から実施している。）

3) 計画の目標

下水道整備を行い、浸水対策を実施することにより水害に強い町を作るとともに、安全・安心、快適な生活環境を実現する。

汚水管で布設後30年経過、処理場で設置後15年を経過した施設において長寿命化計画やストックマネジメント計画を策定し、その計画に基づき施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図る。

下水道事業（雨水）の整備状況

R3.3.31 現在

地域名	全体計画 整備面積 A (ha)	事業計画 整備面積 B (ha)	整備状況		
			整備面積 C (ha)	整備率 C/A	整備率 C/B
水口町、甲南町、甲賀町	2,739.4	745.8	498.1	18.2%	66.8%

・都市下水路整備 長野都市下水路（信楽町長野地域） 34ha 560m 整備済

4) 主な事業内容

水口・甲南地域の雨水渠整備、ストックマネジメント計画の策定

5) 成果目標と達成状況

(1) 定量的指標

①下水道における都市浸水達成率

浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実現すべき面積 (ha)

《計画》計画時現況値 17.7% (484.0ha/2,739.4ha)

↓

最終目標値 18.1% (496.5ha/2,739.4ha)

《実績》最終実績値 18.2% (498.1ha/2,739.4ha)

(2) 定量的指標以外

ストックマネジメント計画の策定による長寿命化対策の明確化

(3) 今後の方針等

浸水被害防止を図るため、引き続き都市浸水対策を実施するとともに、ストックマネジメント計画に基づく施設の機能保持を図る。

社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現 (その2)												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (R2年度) (5年間)												
交付対象	滋賀県甲賀市												
計画の目標	下水道整備を行い、浸水対策を実施することにより、水害に強い町を作るとともに、安全・安心、快適な生活環境を実現する。また、汚水処理施設の長寿命化計画を策定し、安定的で効率的な汚水処理施設の維持管理・更新を図る。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	1,297	A	1,297	B	1,297	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	— %

番号	計画の成果目標 (定量的指標)	定量的指標										
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末 (R2末))								
		1	下水道処理人口普及率が76.9% (H28) から81.6% (R2) に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 行政区域住基人口 (人) : 92,600人 管きよ全体における更新率を0% (H28) から21.8% (R2) に向上させる。 管きよ全体における更新率 更新済み管きよ (km) / 更新すべき管きよ (km) : 5/22.9	76.9 %	79.8 %	81.6 %						
2		0.0 %	18.0 %	21.8 %								

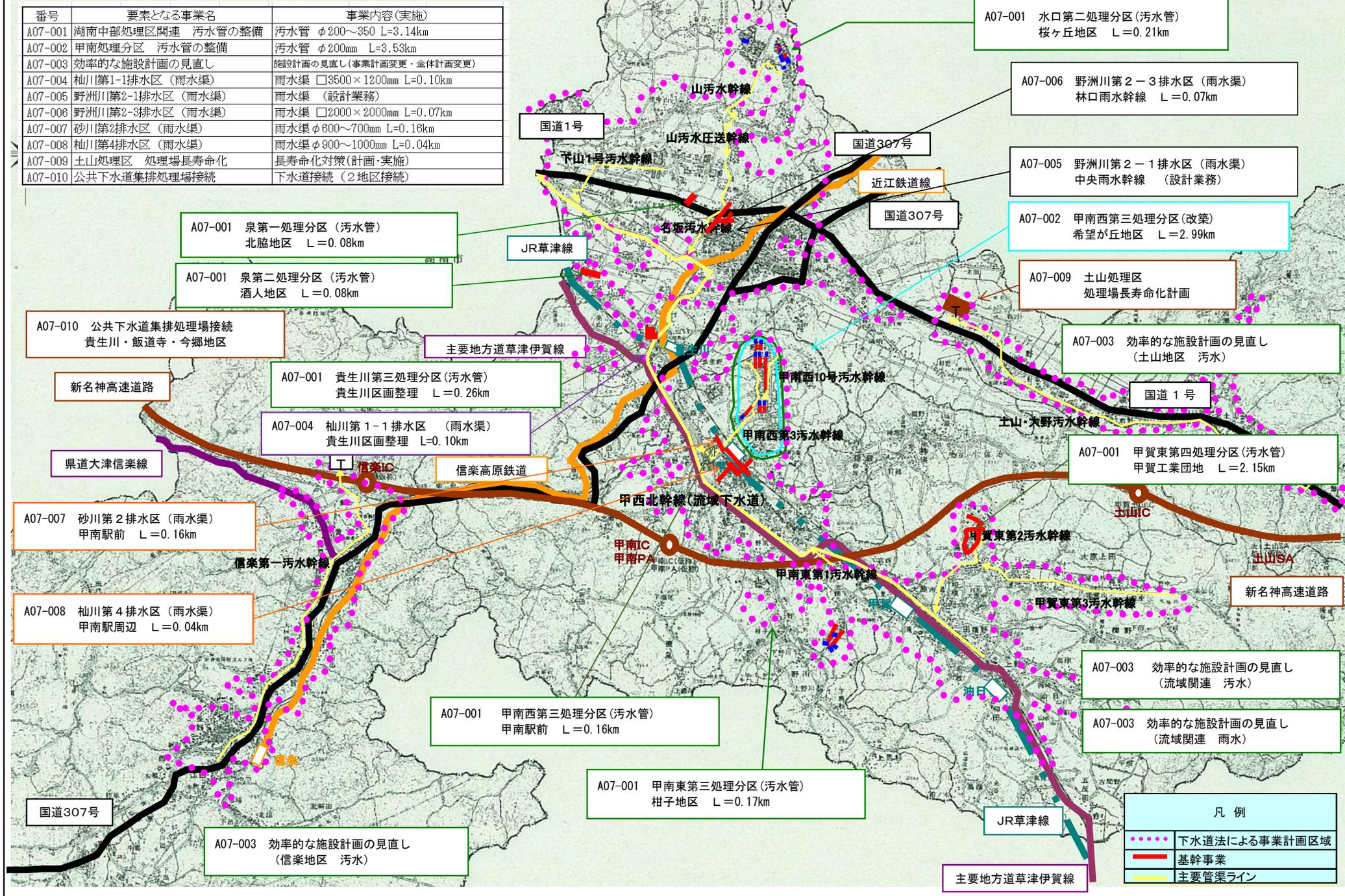
備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
中間目標任意												

事後評価	
<p>○事後評価の実施体制、実施時期</p> <p>事後評価の実施体制</p> <p>事業終了後、下水道審議会において評価</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和4年2月</p> <p>公表の方法</p> <p>甲賀市ホームページにて公表</p>
<p>○事業効果の発現状況</p> <p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>1. 未整備地域への下水道整備の実施及び農業集落排水地区の公共下水道への接続により、下水道処理人口普及率が80.5%に増加したが目標値には届かなかかった。</p> <p>2. 甲南町希望ヶ丘地区の老朽化した管渠の更生を行い、更新率が21.8%に向上した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>長寿命化計画に基づき改修により、土山処理区の処理場の長寿命化を図ることができた。</p>
<p>○特記事項（今後の方針等）</p> <p>・生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、引き続き下水道未整備地区の整備を推進するとともに農業集落排水地域の公共下水道への接続を推進する。</p>	

(参考様式3) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現 (その2)		交付対象	甲賀市 全域
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)			

番号	要素となる事業名	事業内容(実施)
A07-001	湖南中部処理区関連 污水管の整備	污水管 φ200~350 L=3.14km
A07-002	甲南処理分区 污水管の整備	污水管 φ200mm L=3.53km
A07-003	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し(事業計画変更・全体計画変更)
A07-004	杣川第1-1排水区(雨水渠)	雨水渠 □3500×1200mm L=0.10km
A07-005	野洲川第2-1排水区(雨水渠)	雨水渠 (設計業務)
A07-006	野洲川第2-3排水区(雨水渠)	雨水渠 □2000×2000mm L=0.07km
A07-007	砂川第2排水区(雨水渠)	雨水渠 φ600~700mm L=0.16km
A07-008	杣川第4排水区(雨水渠)	雨水渠 φ900~1000mm L=0.04km
A07-009	土山処理区 処理場長寿命化	長寿命化対策(計画・実施)
A07-010	公共下水道集排処理場接続	下水道接続(2地区接続)



計画の名称	甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度 ～ 平成32年度（令和2年度）（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	甲賀市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備を行い、浸水対策を実施することにより、水害に強い町を作るとともに、安全・安心、快適な生活環境を実現する。 ・汚水管で布設後30年経過、処理場で設置後15年を経過した施設において長寿命化計画やストックマネジメント計画を策定し、その計画に基づき施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図る。 											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	841	A	841	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	— %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末 (R2末))
1	下水道による都市浸水達成率を17.7%(H28)から18.1% (R2) に向上させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実現すべき面積 (ha) : 2,739.4ha	17.7 %	17.9 %	18.1 %

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
中間目標任意												

A 基幹事業																			※黒字：計画 赤字：実施				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業個所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況				
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02							
		一体的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	甲賀市	直接	甲賀市	管渠（ 雨水）	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し（雨水）	甲賀市					■	4 0	—					
		事業計画変更（雨水整備基準等の改正予定のため見送り）																					
	A07-002	下水道	一般	甲賀市	直接	甲賀市	管渠（ 雨水）	新設	杣川第1-1排水区 （雨水渠）	雨水渠□3500×2500mm L=0.3km （□3500×1200mm L=0.02km）	甲賀市		■				70 28	—					
		貴生川雨水幹線整備（水口町西内貴区画整理地内）																					
	A07-003	下水道	一般	甲賀市	直接	甲賀市	管渠（ 雨水）	新設	野洲川第2-1排水区 （雨水渠）	雨水渠□2500×1350mm 全長L=0.732km （□2000×2000mm L=0.45km）	甲賀市		■	■	■	■	834 576	—					
		中央雨水幹線整備（水口町）																					
A07-004	下水道	一般	甲賀市	直接	甲賀市	管渠（ 雨水）	新設	野洲川第2-3排水区 （雨水渠）	雨水渠□2600×2400～1500× 1500mm 全長L=0.7km （□2000×2000mm L=0.08km）	甲賀市		■		■		94 79	—						
	林口雨水幹線整備（水口町）																						
A07-005	下水道	一般	甲賀市	直接	甲賀市	管渠（ 雨水）	新設	砂川第2排水区（雨水 渠）	雨水渠φ600～700mm 全長L=0.3km（L=0km）	甲賀市		■	■	■	■	75 0	—						
	甲南駅周辺整備工事に合わせH28年度に実施																						
A07-006	下水道	一般	甲賀市	直接	甲賀市	管渠（ 雨水）	新設	杣川第4排水区（雨水 渠）	雨水渠φ900～1000mm 全長L=0.5km（L=0.08km）	甲賀市		■	■	■	■	265 131	—						
	甲南駅前広場雨水管渠整備（南北）（甲南町）																						

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業終了後、下水道審議会において評価

事後評価の実施時期

令和4年2月

公表の方法

甲賀市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

水口町及び甲南町地域の雨水渠整備を行うことにより、都市浸水対策達成率が18.2%に向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

処理場及びマンホールポンプのストックマネジメント計画を策定したことにより、下水道施設における今後の長寿命化対策の方針が明確化された。

○特記事項（今後の方針等）

- ・ 浸水被害防止を図るため、都市浸水対策を引き続き実施する。
- ・ スtockマネジメント計画に基づき、施設の機能保持を図っていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道による都市浸水達成率を17.7%(H28)から18.1%(R2)に向上させる。		
	最終 目標値	18.1%	
	最終 実績値	18.2%	
	最終 目標値		
	最終 実績値		
	最終 目標値		
	最終 実績値		
	最終 目標値		
	最終 実績値		

カラーマンホール蓋について

1. 設置の目的

市民の下水道への関心を高める啓発普及活動として、また本市知名度の向上及び地域振興の促進を目指し、キャラクターがデザインされたカラーマンホール蓋を設置する。

2. カラーマンホール蓋の概要

市内に3箇所設置予定

- ・甲賀流リアル忍者館、水口スポーツの森、鹿深夢の森公園

カラーマンホールは(株)ポケモンより寄贈

- ・世界に一つしかないデザイン
- ・全国で約170市町に設置（R3.11 現在）
- ・県内では大津市（大津湖岸なぎさ公園）に2箇所設置
- ・他市の事例



(株)ポケモンの資料より)

3. お披露目会（予定）

屋内で記者発表した後、現地でカラーマンホール蓋を設置

場 所：甲賀流リアル忍者館

期 日：令和4年2月22日（火） 忍者の日イベントで実施

担 当：観光企画推進課、下水道課

その他：カラーマンホール蓋の設置内容は、お披露目会の後にホームページ等により周知